

モザンビークの海

結城 文

ヘリコプターに見下す海は黄を帯びし緑を帯びし青の織りなす

わたつみの青きはてよりひしひしと水惑星の力うち寄す

渚べに小さき黒き魚の群れ水の光にゆらめきて過ぐ

まこと海は浮力もつなり砂に伸べし足おのづから浮かびくるなり

透明な水の底ひに白き砂黒きの巖いははの斑はだらなす見ゆ

管より水噴きシユノーケルする数人が魚のやうに群れて過ぎゆく

頭黒く胸白き鶴の七、八羽首伸べてプールの水を飲みをり

真昼間の直射日光強けれど木蔭のわれに触るる風涼し

光増す頭上の半月暗き海の一つ灯りを見つつ食事す

島よりもどる人らはなべて日焼けして肌より潮の香を漂はす